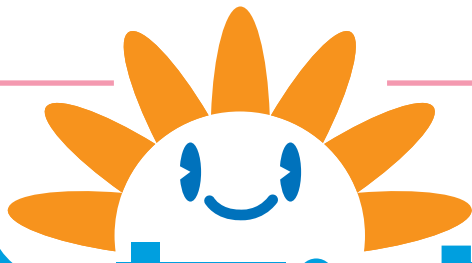


北九州 市議会だより



NO.187

平成21年11月1日号
(年4回発行)

編集・発行
北九州市議会事務局調査課
TEL582-2632 FAX582-2685



松本清張生誕100年 2009年北九州

◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会議の「会議録」「インターネット中継」などご覧いただけます。
アドレスは<http://www.city.kitakyushu.jp/page/gikai/>です。



平成20年度各会計決算を認定!!

9月定例会が9月4日から10月6日までの33日間の会期で開かれました。市長から57件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を原案のとおり決定しました。
また、議員から提出された議案は20件で、うち15件を可決しました。

主な内容	1～3面	本会議での質問と答弁
	4面	決算特別委員会(市長質疑)での質疑と答弁
		可決した意見書・決議、請願・陳情の審議結果 常任委員会の主な活動状況

本会議での質問と答弁

本会議での質問と答弁は、要約したものを掲載しています。
詳細は、11月下旬以降、各市立図書館において会議録でご覧いただけます。
また、市議会のホームページの会議録検索システムでも12月中旬ごろから閲覧できます。

議員 北九州空港は開港以来、路線数が伸び悩んでいる。そこで、他の空港が採用している搭乗率保証を導入する等して、新規路線の誘致に取り組むべきではないか。

北九州空港への 路線誘致の強化を!

「地域の活性化」として、国と地方の協議を法制化し、地方の声や現場の声を聞きながら、国と地方の役割を見直し、地方に権限を大幅に移譲するなど評価できる点もある。
本市としては、このような協議の場を活用するなどしながら、地方の声をしっかりと政府に届け、地方のために主張すべきは主張するという姿勢で対処していきたい。

一方、連立政権の政策台意では、

議員 今回の補正予算の執行や新たな予算案の編成に当たって、新政府とは緊密な情報交換や連携が不可欠である。市長は新政府とどう向き合い、まっすぐりを進めるのか。

9月補正予算の執行について 政権交代に伴う今後の対応

本会議では、各会派から次の19人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 世良俊明 (ハートフル北九州)
- 藤沢加代 (日本共産党)
- 桂茂実 (公明党)
- 柳井誠 (日本共産党)
- 浜口恒博 (ハートフル北九州)
- 西田一 (自由民主党)
- 奥村祥子 (自民市民クラブ)
- 木下幸子 (公明党)
- 山本真理 (ふくおかネットワーク)
- 馬場一榮 (ハートフル北九州)
- 中村義雄 (自民市民クラブ)
- 中原里美 (日本共産党)
- 成重正丈 (公明党)
- 佐藤茂 (自由民主党)
- 福島司 (ハートフル北九州)
- 上野照弘 (自由民主党)
- 荒川徹 (日本共産党)
- 井上秀作 (自由民主党)
- 河田圭一郎 (ハートフル北九州)



北九州空港

***搭乗率保証**
地元と航空会社の間で年間搭乗率を定め、目標を下回った場合は地元が航空会社に保証金を支払い、上回った場合は航空会社が地元へ販売促進協力を支払う仕組み

市長 これまで、路線誘致のため市を挙げて国内外の航空会社を訪ね、北九州空港への就航を働きかけてきた。本年7月には、議長、副議長をはじめ、議会各会派の代表にも、国や航空会社に対し、路線誘致に関する要望などを行っていただいた。
また、本市では、着陸料の補助など路線誘致に必要な助成制度を設けており、昨年度はこれらを活用して済州航空の誘致に成功した。
一方、搭乗率保証については、航空会社自身による集客やPRの努力が失われなかつた側面などもあり、慎重な検討が必要であると考えている。現在、世界的な経済不況により、航空需要は大幅に減少しているが、より効果的な誘致策に知恵を絞る、積極的に路線誘致に取り組む方針である。